

参加

四国遍路は仏教寺院を訪ねる旅ですが、宗教的信念や所属を問わず、誰でも参加できます。また、参加に関する絶対的なルールも存在しません。お遍路の全行程を1回の旅行で終える必要はありません。それに加え、八十八ヶ所を1番から88番（または、一部の人が好む88番から1番）の順に訪れる必要もありません。さらに、ある寺院から次の寺院へ車で移動したり、バスや電車、タクシーを使ったりしても、徒歩移動の場合と同様に許容されます。各寺院は、お遍路全体の単なる一部ではなく、それ自体が目的地だと考えられています。

その一方で、お遍路をする人々が知っておくべき基本事項がいくつかあります。まず、巡礼者は、袖付き・袖無しの白衣や菅笠など、巡礼者だとはっきりわかる装具の着用を検討する必要があります。これらは、大きな寺院の大半で調達することができ、一部のお寺には英語のガイドブックや地図もあります。第二に巡礼者は、道中で挨拶を交わす程度でも良いので、他のお遍路さんや地元の人々と積極的に交流するべきです。そのようなコミュニケーションは、しばしば予想だにしないような発見や、思い出深い出会いにつながります。最後に、宿泊先を事前に予約することをお勧めします。ホテルや旅館のほか、お寺で宿泊するという選択肢もあります。大きな寺院のほとんどが、食事と朝（または夕方）のお勤めへの参加を含む宿泊サービスを提供しています。